

まちづくりの方向性	取組分野	基本施策	主な具体的取組	これまでの京都市西京まちづくり区民会議、アンケート等での意見（概要）
1 誰一人取り残さない人と人々が支え合う区民が主役のまちづくり	(1)だれもが尊重されるまちづくりの推進(人権)	①人権文化の構築 ②互いに認め合う地域づくりの推進	□憲法月間，人権月間等での啓発 □西京区地域福祉推進委員会による地域福祉推進セミナーの開催 □障害のある人への正しい理解と認識等の啓発・広報活動の促進 □精神保健福祉連絡協議会による各種講座の開催，情報発信，啓発活動	・女性の活躍や職住近接等，今ある様々な活動を広げることが重要。 ・女性だけでなく，バランスを取りながら人材を活かしていくべき。 ・自己実現の場として，それぞれ得意なことができる場づくりが必要。 ・区民の過半数が「誰もが支えあい，いきいきと暮らせるまち」だと感じている（アンケートより）。
		③ユニバーサルデザイン・バリアフリーの推進	□みやこユニバーサルデザインの普及 □建築物のバリアフリー化 ◎バリアフリー移動等円滑化基本構想に基づく道路等のバリアフリー化（阪急嵐山・松尾大社地区，上桂地区・桂地区）	
		④男女共同参画社会の実現	□啓発活動，ワークライフバランス推進，ドメスティックバイオレンス対策	
	(2)地域コミュニティの更なる活性化(地域コミュニティ)	①人と人とのつながりづくり	□地域の伝統行事，スポーツ大会，イベント，ふれあいまつり □まちづくり活動団体情報バンク「にしきょう・ねっと」の活用促進 ◎地域団体と NPO 法人の連携促進	・一緒に暮らしているという実感を地域がどう語り掛けていくのか考えることが必要。 ・新しいコミュニティが生まれているところをうまく調整する等，コミュニティのあり方について考えていくべき。 ・近所づきあいが大切であり，安心安全に繋がると思う。 ・人と人とのつながりが生まれ，区民としての喜びが感じられる活動が求められる。 ・若い世代や多世代が交流できる場所・スペースがあるとよい。 ・スタートアップ資金等，自分たちの力で活動できるよう補助していくことが必要。 ・区民の地域コミュニティ活動に対する評価は高く，6割が地域コミュニティの力を生かしたまちづくりが進められていると評価（アンケートより）。
		②地域のイメージづくり	◎イメージキャラクター等を活用した地域のイメージづくり ◎SNS 等を活用した地域情報の発信	
	(3)自治会加入率の向上【重点取組】(自治会加入)	①地域におけるまちづくり活動の充実・支援	◎転入者地域交流支援制度や地域活動支援制度，地域力アップキャンペーン月間等に基づく自治会・町内会の加入促進 ◎自治会・町内会・NPO おうえんポータルサイトによる地域活動の支援 ◎地域コミュニティサポートセンターでの自治会・町内会活動の相談	・自治会離れが問題であり，地域コミュニティとは何かについて連合会，自治会として根本的に考えていく新たな視点が必要。 ・インターネットなどの媒体を使用して，若い世代にも自治会の活動等を発信していくことが必要。 ・集合住宅の人など，もっと自治会へ加入してほしい。 ・ボランティアをする人が減っており，若い人の人材育成が大事。 ・高齢化，少子化で自治会加入者が少なく，維持が困難になっている。（アンケ自由） ・働き盛り世代がもっと参加しやすい自治会運営や，意見を聞く機会などを増やすと良い。（アンケ自由）
		②地域を支える人づくり	□自治会・町内会活動を通じた人材育成	
	(4)協働によるまちづくりの推進(区民参加)	①区民参加の促進	□インターネット，市民しんぶん等による情報発信 □計画やイベント等の企画・運営段階からの区民参加の機会創出 ◎地域の生活情報や地域情報等区民が主体となった情報発信 ◎「自分ごと」「みんなごと」と捉えた協働のまちづくり（まちづくり・お宝バンクへの登録）	・住民のまちづくり参加意識が高まってきているので，さらにその担い手を増やしていくことが必要。 ・広報や PR 活動をもっと充実すべき。 ・地域のイベントなどにもっと男性の参加があるとよい。 ・若者が地域の活動に参画しやすい環境づくりが必要。（アンケ自由） ・区がどんな取組をしているのか，PR がもっと必要。（アンケ自由）
		②多様な主体によるまちづくりの推進	◎未来の西京まち結び，西京区地域力サポート事業，洛西ニュータウンステッパアップサポート事業等による地域課題の解決，市民活動の支援 ◎阪急京都線洛西口～桂駅間高架下「京都市交流促進・まちづくりプラザ」の活用促進 ※区民会議の活動促進・PR ※協働のまちづくりの仕組み・体制の充実	

まちづくりの方向性	取組分野	基本施策	主な具体的取組	これまでの京都市西京まちづくり区民会議，アンケート等での意見（概要）
	(5)福祉のまちづくりの推進 (地域・高齢者・障害者福祉)	①地域福祉の推進	ア 地域福祉推進の担い手・創り手の育成（地域力の強化） ◎協力事業所による見守り活動（京都市高齢者見守り事業），新聞販売所による高齢者見守り活動 □一人暮らしお年寄り見守りサポーターによる高齢者の見守り □認知症サポーター（認知症あんしんサポーター）の養成，小学校や民間事業者における養成講座の開催 □地域支え合い活動創出コーディネーターによる生活支援の担い手の養成・活動支援 イ 総合的な相談支援体制の構築 ◎地域福祉推進委員会の役割の充実・強化による福祉のまちづくり体制の整備 ◎ひきこもり相談の一元化窓口，支援機関との連携 ◎8050 問題，ひきこもりによる社会的孤立の解消・防止に向けた地域あんしん支援員の活動 □京都市西部障害者地域自立支援協議会，西京区地域包括支援センター運営協議会による地域課題の対応 □西京区社会福祉協議会と連携した地域福祉権利擁護事業 □成年後見人制度の活用援助 □京都市高齢者・障害者権利擁護ネットワーク連絡会議による高齢者・障害者の権利擁護対策	・新たな取り組みやグループが生まれる支援きっかけづくり，カフェをもう一步進めるべき。 ・民生委員は年齢制限があるが，新しい人材を見つけることが大変である。 ・高齢世帯に対し，日常的関わりをする施設，担当者の充実が必要。（アンケ自由） ・8050 問題はこれから大きな問題になっていくと思う。 ・学校，家庭，職場，地域で取り組んでいることを融合できないか。 ・若い人の引きこもりが増えている。年齢によって異なる相談窓口の周知が必要。 ・地域でバリアフリー化を進めていくべき。自転車や車いすが置ける場所も必要。
		②高齢者福祉の充実	ア 高齢者の地域での生活の支援 □地域住民，民生委員，老人福祉員，西京区社会福祉協議会，各学区社会福祉協議会，地域包括支援センター等による高齢者の見守り ◎地域支え合い活動調整会議による地域支え合い活動の創出・支援 ◎在宅医療・介護連携支援センターによる在宅生活を支援する専門職の連携に向けた支援，相談の実施 □「ハートページ」による介護保険事業者のサービスに関する情報の提供 □地域包括支援センターによる介護，福祉，健康，医療面からの総合的な支援 □地域包括支援センター，保健福祉センター等の連携による高齢者虐待への対応 ○西京区認知症地域ケア協議会の活動強化 ◎認知症初期集中支援チームによる認知症の早期発見と早期対応 ◎認知症カフェの運営 ◎地元団体と連携した軽度認知症高齢者の活動の場づくり（大原野ヨモギ等） □地域介護予防推進センターにおける介護予防事業の実施 イ 高齢者の生きがいづくり・健康づくりの支援 □学校教室等を活用した健康すこやか学級の開催 □老人福祉センターでの各種相談やいきがいの場づくり □「西京健康ひろば」やフレイル予防を主軸とした「らくさい健康長寿プロジェクト」等の健康づくり事業 □健康長寿サロンでの老人クラブ活動の支援など，高齢者の健康・いきがいづくり □シルバー人材センターの運営支援を通じた高齢者の社会参加の促進 ウ 高齢者福祉の基盤整備 □特別養護老人ホーム，老人保健施設，，認知症高齢者グループホーム等，介護サービス基盤の整備促進	・地域の高齢化についてしっかり話し合い，じっくり取り組む機会が必要。 ・洛西ニュータウンの高齢化を肌で感じる。 ・認知症対策も必要。 ・官民が協働しセミナーや相談会などを実施すべき（例：不動産業の一環としてのセミナー・相談会）。 ・西京区内でも地域格差があり，保健・医療・福祉が充実した地域もあれば，そうでない地域もある。（アンケ自由） ・小さな子どもを持つ家族も年齢の高い人も，楽しく元気に参加できる様なイベントで健康も増進していけるとよい。（アンケ自由） ・高齢者や障害者が能力を発揮できる機会・場所を作っていくことが大切。 ・高齢者が増え続けていくため，健康寿命を伸ばすことで高齢者にも活躍してもらい，地域の活性化を図っていくことが必要。 ・地域活動に参加することにより生きがいを感じたり，誰もが気軽に集える居場所づくりが必要。 ・歳を取っても元気で過ごせるようにボランティアをして，人のために活動することで生きがい生まれる。 ・障害者・高齢者の働く場が必要。 ・高齢化が進む中，1人暮らしの方等の交流をもっと深めていった方がいい。（アンケ自由）

まちづくりの方向性	取組分野	基本施策	主な具体的取組	これまでの京都市西京まちづくり区民会議、アンケート等での意見（概要）
		③障害者福祉の充実	ア 障害のある人の交流活動の促進 □障害のある人への正しい理解と認識等の啓発・広報活動の促進<再掲 1(1)②> □障害のある人の社会参加の促進 □西総合支援学校と連携した地域との交流促進 □障害者スポーツの機会づくり イ 障害のある人もない人も共に暮らす地域の実現 □京都市西部障害者地域生活支援センター「西京」, 同「らくさい」による相談, 支援, 関係機関との調整 □視覚障害, 聴覚障害のある市民へのコミュニケーション手段の確保 □障害のある区民の地域生活を支援するサービス提供体制の確保, 人材育成 □障害のある区民への就労支援 □精神保健福祉連絡協議会による各種講座の開催, 情報発信, 啓発活動<再掲 1(1)②> □障害者手帳・自立支援医療等の交付 □医療や相談支援体制（精神保健福祉相談, 家族懇談会等）の充実 □こころの病のある人が地域で安心して暮らせるようにする会の活動 ○災害時における要配慮者の把握 ○重度障害者, 要支援高齢者等災害時要配慮者の個別避難計画の策定	・障害者への接し方や障害者福祉どう進めていくか, もっと周知・啓発が必要。 ・障害者当事者のグループがある（学区・社協が支援）。 ・障害のある方との交流の場がまだまだ少なく, 偏見, 差別的な考えがあり, 安心して住める住居環境への取組が少ない。（アンケ自由）
	(6)子育て・教育環境の充実 (子育て・教育)	①子育て環境の充実	ア 乳幼児の健やかな発育・発達支援, 児童虐待の未然防止 □妊娠前から安心して妊娠・出産できる環境づくり, 各種教室や訪問・相談 ○子どもはぐくみ室での総合相談の実施(子育てコンシェルジュ機能の活用) □新生児等家庭訪問事業（こんにちは赤ちゃん事業）の実施 □乳幼児健康診査の充実 □西京区要保護児童対策地域協議会等による児童虐待の早期発見, 早期対応 □「親子すこやか発達教室」など発達に課題のある児童・家庭等への支援 イ 地域ぐるみでの子育て支援 □学区民生児童委員協議会, 学区社会福祉協議会などの地域団体による子どもが生まれた家庭への訪問, 育児相談 ○地域で支える～すくすく子育て応援事業（子育てサロン）の充実 □西京区「はぐくみ」ネットワーク実行委員会による「京都はぐくみ憲章」の啓発・実践促進 □子育て援助活動支援事業（ファミリーサポート）の推進 ◎地域団体, N P O法人など多様な主体による「子ども食堂」や（学習支援）等の子どもの居場所づくり事業の展開, 促進, 支援 ◎地域のN P Oや商業者等が連携した託児サービスの展開 ○西京区子育て支援ネットワーク連絡会の活動推進強化 ウ 子育て家庭への支援 □産後の体調不良や育児に不安があり, 家族等の支援が得られない母親を対象とするスマイルママ・ホッと事業, 育児支援ヘルパー派遣事業による支援 □幼児教育・保育の充実と支援の質の確保（保育所等待機児童ゼロ継続） ○身近な地域での「児童館（学童クラブ）」, 「放課後まなび教室」, 「放課後ほっと広場」等の居場所の充実 □「子どもを共に育む『親支援』プログラム～ほっこり 子育て ひろば～」の実施 □子育て援助活動支援事業（ファミリーサポート）の推進<再掲 1(6)①> ○子どもの病気や事故に対応できる体制の充実 ○「らくさい子育てマップ」等子育てに関する情報等を掲載した冊子の作成・配布 □ひとり親家庭への総合的な支援	・地域ぐるみの子育て, 子どもの教育環境の評価が上がった要因の確認。 ・一生懸命に取り組んだ結果と回答者属性がマッチし, 子育て等についての評価が高いのではないかと。 ・区内の子育て支援について, 幼稚園, 保育園, 小中学校, 児童福祉施設等が子育て支援連絡会を開く等情報共有, 助け合いや, たけっこぐんぐんプロジェクト（支所）が進められ, 子育て環境が良くなっていることを実感。 ・川岡東学区の子ども食堂「ひまわり食堂」は, 地域連携で運営されている好例。 ・中学生の居場所づくりといったサポートも必要。 ・高齢者が子どもに昔遊びを教えるなど, 子育て支援できる場や機会づくりが必要。 ・子育て中の親や親子等が集える場所・居場所づくりが必要。 ・地域で孤立している子育て家庭があり, 地域住民と顔なじみになることが重要。 ・地域の人が子どもに声かけできる雰囲気づくりも重要。普段からあいさつなどのコミュニケーションが大事。 ・地域で取り組まれている優良事例を集めて, 他の地域に情報発信し, 区全体で共有すべき。 ・発達障害の子ども達や, 成人した発達障害の人を支援する制度が必要。 ・区民の子育て支援に対する区民評価は高く, 6割が地域ぐるみで子育てを支えあうまちであると評価（アンケートより）。 ・子どもがのびのびと遊べる場所をもっと充実させてほしい。（アンケ自由） ・子育て世代にとって魅力ある街づくりにする必要がある。（アンケ自由）

まちづくりの方向性	取組分野	基本施策	主な具体的取組	これまでの京都市西京まちづくり区民会議、アンケート等での意見（概要）
			エ 子育て支援機能の充実 ○子どもはぐくみ室での総合相談の実施(子育てコンシェルジュ機能の活用) ＜再掲 1(6)①ア＞ ☐社会的養育（里親制度）の推進 ☐地域子育て支援ステーションでの子育て相談，各種講座開催 ☐つどいの広場（京都市子育て支援活動いきいきセンター）での子育て中の親子の交流促進 ☐地域の子育て支援情報の発信 オ 子どもたちの健全育成の推進 ☐青少年の自主的活動の促進 ☐地域生徒指導連絡協議会による青少年健全育成活動 ☐西京保護司会と学校との懇談会の開催 ☐桂坂野鳥園での子ども・親同士の活動支援 ☐P T A活動の推進 カ 親と子の健康づくり ○妊娠前から安心して妊娠・出産できる環境づくり，各種教室や訪問・相談 ＜再掲 1(6)①ア＞ ○親子で楽しむ健康教室の開催や児童館等での出張教室の開催，離乳食講習会の開催	
		②教育環境の充実	ア 地域との連携による学校教育の推進 ☐学校運営協議会による地域に開かれた学校づくり ☐学校支援ボランティアの派遣 ☐学生や地域ボランティアによる土曜学習の実施 ☐「みやこ子ども土曜塾」の実施 ☐地域の自然・伝統文化等を体験的に学ぶ機会の創出 イ 子どもの特性に応じた教育の充実 ☐育成学級の設置 ☐総合育成支援員の配置 ウ 教育環境の充実 ☐学校図書館の環境整備 ☐スクールカウンセラー，スクールソーシャルワーカーの学校への配置 ☐学校トイレの洋式化等環境改善 ◎小学校のあり方（人口減少社会に応じた学校教育のあり方）	・地域ぐるみの子育て，子どもの教育環境の評価が上がった要因の確認。 ・ジュニア京都観光大使は西京出身者が多く感心する。 ・近所の大人と子どもと一緒に活動し，生活の知恵を伝えることが必要。 ・親子や子どもたちが歴史・文化に親しむイベントの実施（例：神社仏閣を巡るスタンプラリー）。 ・青少年が集える場所が必要。 ・区民の半数が，地域ぐるみで特色ある，きめ細やかな教育を行っていると評価（アンケートより）。 ・公立学校が老朽化している。（アンケ自由）
	(7)健康づくりの推進（健康・医療）	①健康づくりの支援充実	ア ところとからだの健康の増進 ☐「西京健康ひろば」やフレイル予防を主軸とした「らくさい健康長寿プロジェクト」等の健康づくり事業＜再掲 1(5)②＞ ☐特定検診，後期高齢者健康診査，健康診査の実施 ☐各種がん検診の実施 ☐歯周疾患予防健診，75歳お口の健診事業の実施 ☐保育所・幼稚園のむし歯予防，高齢者等への口腔ケア普及啓発 ☐精神保健福祉相談＜再掲 1(5)③＞ ☐食中毒の探知や感染症の流行等への対応 イ 健康に対する意識の向上 ☐地域での健康相談，健康教室やウォークラリーの開催 ☐思春期健康教育の推進 ウ 地域による健康づくり活動の展開 ☐健康づくりサポーターの養成 ☐地域での健康相談，健康教室やウォークラリーの開催＜再掲 1(7)①イ＞	・地域ぐるみでの子どもはぐくみ，健康長寿の推進が必要。 ・少子高齢化社会において，健康長寿の観点は非常に重要である。 ・健康長寿に関する区主催の啓発イベントがあるとよい。 ・認知症対策も必要

まちづくりの方向性	取組分野	基本施策	主な具体的取組	これまでの京都市西京まちづくり区民会議、アンケート等での意見（概要）
			工 食育の推進 ☐ 食育指導員の養成，食育指導員による児童館・保育園・地域等での食育指導 ☐ 子どもや高齢者等を対象にした食育指導 ☐ 妊産婦を対象にした離乳食講習会等の開催	
		②介護予防の推進	☐ 地域介護予防推進センターにおける介護予防事業の実施＜再掲 1(5)②＞ ☐ 特別養護老人ホーム等介護サービス基盤の整備促進＜再掲 1(5)②＞ ☐ 学校教室等を活用した健康すこやか学級の開催＜再掲 1(5)②＞ ☐ 老人福祉センターでの各種相談やいきがいの場づくり＜再掲 1(5)②＞ ☐ 「西京健康ひろば」やフレイル予防を主軸とした「らくさい健康長寿プロジェクト」等の健康づくり事業＜再掲 1(7)①＞ ☐ 障害者スポーツの機会づくり＜再掲 1(5)③＞ ☐ 「ハートページ」による介護保険事業者のサービスに関する情報の提供＜再掲 1(5)②＞ ○西京区認知症地域ケア協議会の活動強化＜再掲 1(5)②＞ ◎認知症初期集中支援チームによる在宅医療に関する相談支援＜再掲 1(5)②＞ ◎認知症カフェの開設，運営＜再掲 1(5)②＞ ◎地元団体と連携した軽度認知症高齢者の活動の場づくり（大原野ヨモギ等）＜再掲 1(5)②＞	
	(8)安心・安全なまちづくりの推進 （安心・安全）	①地域ぐるみの防犯活動の推進	☐ 子どもの通学路での見守り活動 ☐ 地域住民や各種団体等と連携した防犯活動 ☐ スクールガードリーダーによる巡回指導，学校安全ボランティア講習会の開 ☐ 安心・安全ネットワーク協議会，洛西防犯連絡協議会による防犯活動 ○生活安全推進協議会による啓発活動 ○防犯カメラ設置補助等地域の防犯環境の整備 ○おもてなしのまち京都市民ぐるみ推進運動の展開 ☐ 放火防止対策	・子どもの見守り活動が高齢化しており，若い世代の参加が必要。 ・日頃から声かけや挨拶のできるまちづくりを進めることが必要。 ・子供たちが公園などで楽しく遊べるよう安全な遊具や，防犯カメラなどの設置も必要ではないか。 ・安心安全はずっと必要である。 ・区民の美化活動や防犯・交通安全活動・防災意識についての評価は高く，6割が防犯活動や交通安全活動が活発で防災意識も高いと評価（アンケートより）。 ・防犯対策。近隣で犯罪が起って不安である。防犯カメラやパトロールをもっと増やすべき。（アンケ自由） ・桂川の提防強化等の防災対策と，災害発生時の情報展開や避難対応強化見直しが必要。（アンケ自由）
		②交通安全対策の推進	○ゾーン 30 の設定，見守り活動等による地域ぐるみでの交通安全対策 ☐ 自転車安全教室等による自転車の交通安全啓発 ☐ ガードレール，横断防止策等交通安全施設の整備 ☐ 小学生 1 年生を対象にした交通安全教室 ○高齢者の交通教室や運転免許証自主返納の促進	
		③地域の防災環境づくり	○災害時の要配慮者の名簿作成・情報共有等による地域の防災体制の強化 ◎医師会，歯科医師会，薬剤師会，病院との連携による災害時医療救護活動体制の構築※連携協定は，締結に向けて調整中 ○総合防災訓練（福祉避難所訓練）実施による防災意識の高揚 ○土砂災害ハザードマップの作成・配布 ☐ 西京区社会福祉協議会と連携した災害ボランティアセンター設置・運営訓練 ☐ 高齢者等の防火安全指導等防火安全対策 ☐ 文化財市民レスキュー体制の育成・指導	
		④防災意識の向上	☐ 救命講習の実施 ☐ 消防団・自主防災組織の防災対応力の向上指導 ☐ 防災訓練の実施，防災マニュアルの検証，避難所運営訓練等の支援 ☐ 出前型の防災講座の開催	
		⑤食の安全と感染症対策	☐ 食中毒の探知や感染症の流行等への対応＜再掲 1(7)①＞	

まちづくりの方向性	取組分野	基本施策	主な具体的取組	これまでの京都市西京まちづくり区民会議、アンケート等での意見（概要）
2 環境と共生するまちづくり	(1)自然環境の保全と緑化の推進（自然環境）	①豊かな自然環境の保全とまちの緑化の推進 ②環境を大切に作る心の育成 ③身近な自然や緑とのふれあいづくり	☐ 小学生の長期宿泊，自然体験 ☐ 水源涵養，生態系保全等森林が持つ多面的機能向上に向けた森林整備 ☐ 竹林や森林の適正な維持管理 ☐ 民有地の緑化支援 ☐ 街路樹サポーターの活動支援 ☐ 地域行事等イベントのエコ化 ☐ 家庭の省エネ・省資源の取組推進 ☐ 学区での活動の充実 ☐ 学校の緑化等エコ化や児童の環境教育 ☒ 公園の再整備や計画的な管理保全 ☒ 公園愛護協力会等による公園の維持管理 ☒ 身近な公園を活かしたプレイパークの実施	・洛西大原野は自然環境が豊富なエリア。大原野・大枝の情報（食と自然）を知ることができる場所があるとよい。 ・区民の自然環境に対する評価は高く，嵐山や西山のほか，まちなかの豊かな自然等が評価されている（アンケートより）。 ・区民の7割近くが豊かな自然環境が保全され，ふれあう機会もあると感じている（アンケートより）。
	(2)「歩くまち・京都」の推進（歩くまち・京都）	①「歩くまち・京都」の推進	☐ 「歩くまち・京都」総合交通戦略の推進 ☒ 福西学区におけるモビリティマネジメント	・桂駅まで歩いていける仕掛けが必要。 ・「歩いて楽しい」まちだと感じている区民は4割程度（アンケートより）。 ・西京区のどの場所でも，町名，番地を分かりやすく，駅などの案内（何km）をして方向が分かりやすくする事が大切。（アンケート自由） ・桂駅から洛西口駅まで歩道の整備が必要。（アンケート自由）
	(3)まちの美化活動の推進（まちの美化）	①まちの美化活動の推進	☐ 児童・生徒の美化活動，啓発活動 ☐ 学区・地域での一斉清掃 ☐ 不法投棄ごみ対策 ☐ 空き地管理の指導・啓発 ☐ 流域河川の美化清掃や不法投棄防止啓発	・ゴミを拾う意識啓発が大事（例：ゴミ拾いデイイベント）。 ・「花いっぱいのもちづくり」の推進。 ・区民の6割が地域住民や関係団体，行政が連携してまちの美化活動に取り組んでいると感じている（アンケートより）。
	(4)脱炭素・循環型社会の構築（脱炭素・循環型社会）	①脱炭素・循環型社会の構築	☐ 市民の主体的な環境活動の支援 ☐ 家庭ごみ減量 ☐ 環境施設見学会 ☐ 落ち葉の有効活動 ☐ 学校等公共施設の環境マネジメント ☒ プラスチックごみ対策	・物の大事さや，使えるものは使うという意識啓発が重要。 ・ごみの分別が進み，ソーラーパネルの設置が増えてきた。 ・てんぷら油の回収や堆肥づくりなどの推進。 ・区民の半数が限りある資源を有効活用するまちとなっていると評価（アンケートより）。
	(5)美しい景観の保全・創出（景観）	①美しい景観の創出	☐ 「京・輝き隊」による違反屋外広告物の撤去 ☒ 地区特性の応じた景観づくり活動 ☐ 洛西中央緑地の維持管理	・6割の区民が美しい景観が創出されていると評価（アンケートより）。
	(6)田園環境の保全と農業の振興（農業）	①田園環境の保全・活用 ②農業の振興 ③地産地消の推進	☐ 田園環境の保全と質的向上 ☒ 休耕田を活かしたイベント開催 ☒ 大原野「地域ブランド」戦略の推進 ☐ 鳥獣被害対策 ☐ 次代の農業担う人材育成 ☐ 京の旬野菜キャンペーン ☒ イベントやマルシェ等による大原野産農産品や加工品の販売促進 ☒ 大枝産農産品の販売促進 ☐ 農産品の品評会	・大原野は「地域ブランド」戦略を元に地域の活性化を進めている。若い世代にマルシェ大原野への参画を呼び掛けたい。 ・獣害対策が深刻で稲作をやめることを考える人もいる。行政と一緒に農業施策に取り組みたい。 ・京大桂ベンチャープラザは大原野で農場を借りて新しい展開をしている。 ・農業に携わる若手を育成したり，農業に関する地域資源を積極的にPRしていくことも必要。 ・野菜の収穫体験や，収穫したものを調理・食べる場所があるとよい。 ・大枝の柿など，特産物店があるとよい。 ・農業に関心のある“若者”を受け入れられる様な取組がもっとあればいいと思う。（アンケート自由）

まちづくりの方向性	取組分野	基本施策	主な具体的取組	これまでの京都市西京まちづくり区民会議、アンケート等での意見（概要）
3 人と歴史・文化が輝くまちづくり	(1)地域の歴史・文化の継承と活用（歴史・文化）	①地域の歴史的資源を生かしたコミュニティづくり ②歴史や文化の伝承と振興	□大学等と連携した地域の祭り等の開催，地域産品の販売促進 ◎日文研，総合病院などが実施する事業等との連携 □地域文化の発信や歴史探訪等を行う団体活動への支援 □ウォーキング・サイクリングマップの作成・配布，ウォーキングイベントの開催 □西文化会館ウェスティや学校施設を活用した地域の文化・芸術の取組 ◎月見イベントなど自治会と協働したイベントの実施	・西京区独自の文化（例：盆・正月の過ごし方）の再発見，地域の祭り（例：六斎念仏など）の復活。 ・石垣や昔の城跡など，あまり知られていない文化・歴史がを外部に発信し，観光につなげていくべき。 ・芸術家を育成するためのアートスペースや，将棋をテーマとしたイベント可能なスペースなどができないか。 ・西京区は自然豊かで，文化的にも古い歴史を持ち様々な建築物も残されている。古くから，この土地に住む方々から，土地に根ざしたお話を伺ったり，新しく住み始める人々にも協力して行事を遂行したりするなどの催しがあれば楽しく住める一助にもなると思う。（アンケート自由）
	(2)地域の魅力を活かした観光の振興（観光）	①観光の振興	◎洛西口，洛西ニュータウン，大枝・大原野地域等での事業者と連携した自転車観光の展開 □パークアンドライド等嵐山地域等での「歩く観光」の推進 □「京都一周トレイル」を活かしたエコツーリズム推進 ○公共交通機関の駅やバス停等での観光案内標識の整備 ◎地元各団体のほか他都市とも連携したイベントの実施 ◎京都第二外環状道路や IC のインパクトを活かした誘客や新たな観光スタイルの検討	・嵐山，西京区への観光は大原野 IC を経由することが多く，このルート上での商業施設整備が考えられないか。 ・大原野，沓掛 IC 周辺は大きく変わろうとしており，自然環境を保全しつつうまく取り組んでもらいたい。 ・西京区は地道にじわりとファンを増やしていくべき。 ・外国人を含め，嵐山，苔寺，上桂等から魅力資源を回遊してもらえれば観光客が増えるのでは。 ・車や電車だけでなく，エコの観点からも自転車（シェアリング）の活用は大学関係者の移動や観光に寄与するのでは。 ・区民の観光振興に対する評価は低く，地域の魅力を生かした観光の振興が図られていると感じている区民は少ない（3割程度，アンケートより）。
	(3)市民スポーツの振興（市民スポーツ）	①市民スポーツの振興	□体育振興会，スポーツ推進委員会等による市民スポーツの振興	・西京区と右京区はスポーツが熱心な地域。 ・駅伝が強い中学校の練習コースをランニングコースとして情報発信してはどうか（観光やスポーツの連動） ・ジョギングやウォーキングコースなど，高齢者でも気軽に運動できる場所があるとよい。 ・過半数の区民が，スポーツを通じた健康づくりや区民相互の交流が図れていると評価（アンケートより）。
	(4) 近隣市区町等との連携の推進【重点取組】（都市間交流）	①近隣市区町等との連携の推進	○亀岡市，向日市，長岡京市，京都市右京区などの近隣市区町との住民交流促進やイベントの開催 ◎西山エリアの観光振興に向けた関係者会議の実施 ◎観光，農業等の分野での広域連携の推進	・亀岡市等近隣との関係について区民にわかりやすく見せていくことが必要。 ・街道・宿場町のつながりで亀岡や伏見，乙訓等と交流できないか ・西京区と右京区の観光連携等が考えられないか。 ・亀岡市とはスポーツを通じた交流を展開中。 ・亀岡市等近隣との交流が盛んで，交流を通じた地域の活性化が図られていると感じている区民は少ない（2割程度，アンケートより）。
	(5)生涯学習の推進(生涯学習)	①地域に根差した生涯学習の推進 ②図書館機能の充実	□学校コミュニティプラザや学校ふれあいサロン等小中学校を活用した生涯学習活動 □子育て支援や環境問題等をテーマにした「市民スクール 21」等の生涯学習活動 □西京図書館，洛西図書館での生涯学習等の支援	・講座は区内で活動している団体にも PR すべき。 ・移動図書館や子ども図書館があるとよい。 ・生涯学習を通じて，だれもが自由に学び，ふれあい，交流できると感じている区民は少ない（3割程度，アンケートより）。 ・図書館は色々な人達が集える場所の様に思うが，場所が悪い。数があるとよい。（アンケート自由）

まちづくりの方向性	取組分野	基本施策	主な具体的取組	これまでの京都市西京まちづくり区民会議、アンケート等での意見（概要）
	(6)大学・学術研究機関等との連携【重点取組】 （大学等との連携）	①大学・学術研究機関等と地域との連携	☐ 大学，学術研究機関等による公開講座の開催 ○大学等と区民が連携した地域交流やまちづくり活動の推進 ◎地域・事業者の意向を踏まえた芸大移転跡地活用の検討 ◎連携協定締結に基づく，病院，医師会，歯科医師会，薬剤師会主催の公開講座等の市民しんぶん西京区版での周知 ※連携協定は，締結に向けて調整中 ◎日文研，総合病院などが実施する事業等との連携＜再掲 3(1)④＞	・イノベーションパーク，日文研とのつながりが難しい。 ・日文研の事業は回覧板が回っているが地域の人がどれだけ参加するかが問題。 ・専門学校が地域と連携した文化祭の開催を望んでいる。 ・民生委員の活動を大学で話をする機会があったが1回だけの対応となっており，次のアクションが必要。 ・大学から地域へのアプローチも増えてきており，以前よりつながりができつつある。 ・大学や研究機関として地域貢献は大きな仕事であり，地元から働きかければ様々な形で努力してくれるのでは。 ・桂イノベーションパーク，京大桂ベンチャープラザ，日文研について，地域連携を検討しており，今後意見交換したい。 ・日文研との連携の中で，洛西ニュータウンの「妖怪大行進」が始まった経緯がある。 ・大学関係者が西京区に住むことで大学との連携を図ることができないか。 ・区民の産学公の交流や連携に対する評価は低く，学術研究機関との連携が図られ，地域の文化・教育・研究活動の成果が発信されていると感じている区民は3割程度（アンケートより）。
4 いつまでも住み続けられる都市基盤が整うまちづくり	(1)公共交通体系の充実（公共交通）	①公共交通機関の充実	○バスダイヤの改正等公共交通の利便性向上 ☐ イベントでのバス乗車体験等公共交通利用促進	・商工業，交通面が課題。 ・公共交通で買い物に行けるネットワークが充実していれば買い物難民の対応は可能では。 ・洛西地域の交通について，充実しているところとそうでないところを整理し適切な交通体系を考えることが重要。 ・転入者へのバス路線図や公共交通の案内を行うことで交通ネットワークが維持される。 ・観光スポット間の交通機関が利用しにくく利便性が悪い。 ・区民の公共交通に対する評価は低い（アンケートより）。 ・交通機関が不便。バスの本数をふやしてほしい。（アンケ自由）
	(2)新たな交通ネットワークの検討【重点取組】 （新交通ネットワーク）	①基幹的交通ネットワーク導入の検討	◎区民の交通利便性向上につながる新交通システムの検討 ◎洛西地域におけるバスを中心とした新たな基幹的交通ネットワークの導入の検討	・車や電車だけでなく，エコの観点からも自転車（シェアリング）の活用は大学関係者の移動や観光に寄与するのでは。 ・電動アシスト付きシェアサイクルは坂道が多い西京区でも活用できるのでは。 ・シェアサイクルの活用（レンタサイクルの乗り捨て拠点の整備）。 ・サイクリングルートを活用できないか（琵琶湖一周の「ピワイチ」等のキャッチフレーズ）。
		②自転車交通の推進	◎民間事業者と連携した自転車交通の推進	
	(3)暮らしやすい道路環境の整備（道路環境）	①生活道路の環境整備	◎バリアフリー移動等円滑化基本構想に基づく道路等のバリアフリー化（阪急嵐山・松尾大社地区，上桂地区・桂地区）＜再掲 1(1)③＞	・川岡東は自転車も減ってきてまちが変化してきていると感じる。 ・道が狭く，大原野地域は大型バスが通れない。 ・大原野・沓掛 IC の活用（通過するだけの場所にならないよう，楽しめる場所にできないか）。 ・ニュータウン内歩道の再整備が必要。 ・道がガタガタで，危険な所も多く，子ども連れやご高齢者も通りやすい通りを増やしてほしい。（アンケ自由）
		②幹線道路の整備	☐ 都市計画道路久世梅津北野線，中山石見線，伏見向日町線，久世北茶屋線の整備促進	
		③放置自転車対策	☐ 自転車放置防止啓発活動，放置自転車の撤去	
	(4)河川・上下水道の整備（河川・上下水道）	①河川改修の促進	☐ 善峰川，新川の改修促進	・桂川は豪雨時に氾濫の危険を感じるため，文化遺産（桂離宮）を守る意味でも河川敷，河川の整備をしてもらいたい。（アンケ自由） ・川や用水路の整備を進めてほしい。（アンケ自由）
		②総合的な治水対策の推進	☐ 雨水貯留施設や雨水浸透ますの設置補助	
		③安心・安全で良質な水道水の供給	☐ 琵琶湖の水質監視 ☐ 高度浄水処理機能の確保	

まちづくりの方向性	取組分野	基本施策	主な具体的取組	これまでの京都市西京まちづくり区民会議、アンケート等での意見（概要）
	(5)公園の活性化【重点取組】 （公園活性化）	①公園の賑わいづくり	◎ 民間活力導入による公園の賑わいづくり	・ 公園に子どもが少ないと感じる。 ・ 公園を地域の交流拠点化できないか。 ・ 公園内に飲食店を作り、若者世代を増やして定住促進に繋げたり、公園（竹林公園等）を活用した観光などができないか。
	(6)安心で安全な都市基盤の整備（耐震化等）	①建築物の耐震化等の推進	○ 民間建築物の耐震診断や耐震改修の支援、ブロック塀等除却支援 □ 緊急避難場所での消防訓練や負傷者手当講習の開催、災害時に必要となる機器の確保	・ 小学校避難所などの老朽化、耐震化も進んでおらず、不安。（アンケート自由） ・ 老朽化や耐震化等の事業を進めてもらいたい。（アンケート自由）
		②災害に強い上下水道の整備	○ 老朽管路の更新、災害用マンホールトイレの整備	
	(7)西京区総合庁舎整備 （総合庁舎整備）	①西京区総合庁舎整備	◎ 第 1 期工事（上下水道局西京営業所跡地）の実施 ◎ 第 2 期工事（区役所立体駐車場敷地）の検討 ◎ 洛西地域のまちづくり機能強化の検討	・ 環境にやさしいエコな庁舎へ（例：中京区役所の屋上緑化，木材を使用した庁舎） ・ 地域の団体が集まって話し合いができる会議室や市民交流スペースがあるとよい。 ・ まちづくりスペースを充実させ，区役所をまちづくりの一大拠点とすべき。 ・ 情報発信の場として，オープンロビーや庁舎の壁等を有効活用すべき。 ・ 地下や屋上スペースの有効活用（例：地下駐車場，屋上庭園，展望スペース，カフェ等）。
	(8)職住近接のまちづくりの推進【重点取組】 （職住近接）	①新たな働く場の創出	◎ 新産業の振興による働く場の創出 ◎ 公有地開発等による新たな働く場の創出 ◎ 「みらまち結び」，「サポート事業補助金」等による身近で働ける場の創出支援	・ 女性の活躍や職住近接等，いまある様々な活動を広げることが重要。 ・ 住むだけの区では難しく，勤める場所の創出を考えていくことが必要。 ・ 西京区は中間層（生産年齢人口）が多くないのでは。住みたいと思うには魅力ある商業や働く場あることが基本であり，広い分野で確かめたい。 ・ 小学生の地元での職業体験を実現することで地域雇用につなげたい。 ・ 「住むまち」から「働けるまち」になるようなまちづくりが必要であるが，高齢化に伴う在宅介護など働く場はたくさんあると思う。 ・ テレワークの場所づくりやコワーキングスペースの設置（5G 環境を見据えて）。
		②ソーシャルビジネス，コミュニティビジネスの支援	◎ 社会や地域の課題解決につながるソーシャルビジネス，コミュニティビジネスの支援	
		③身近な地域での就労支援	◎ 農業分野の新たな担い手の育成支援	
	(9)商工業の振興（商工業）	①地域の特性に応じた商工業の育成	◎ 西京区の特産品や手作品等を販売するマルシェの開催 ◎ 洛西ニュータウン内商業の活性化支援 □ 地域の商店街等が実施するイベントをはじめとした地域活動や設備改修等の支援 □ 嵯峨嵐山地域商業ビジョンの具体化	・ 商工業，交通面が課題。買い物の利便性を向上させていくことが必要。 ・ 町の商店がなくなってきており，店主の連携が課題。 ・ 公共交通で買い物に行けるネットワークが充実していれば買い物難民の対応は可能では。 ・ 洛西ニュータウンの買い物環境に関心がある。洛西ニュータウンの空き家を使った企業支援ができないか。 ・ 西京区に来る観光バスのほとんどが大原野 IC を利用。このルートに集客・商業施設を検討すべき。 ・ 事業者と行政が連携し，商業施設や工場を区内に設置できないか。 ・ 区民の商工業の振興に対する評価は低い（アンケートより）。 ・ マーケットや商店が少なく，買い物に不便を感じている。（アンケート自由）
		②民間事業者と連携した商業の活性化	◎ 阪急洛西口～桂駅間プロジェクトの推進	

まちづくりの方向性	取組分野	基本施策	主な具体的取組	これまでの京都市西京まちづくり区民会議、アンケート等での意見（概要）
	(10)新産業の創出【重点取組】（新産業）	①先端産業の育成	☐ インキュベーションマネージャーの配置等による新ビジネスの創出 ☐ 京都大学イノベーションプラザを拠点とした科学技術振興	・大学等と連携し商業の活性化が図れないか。 ・イノベーションパーク，日文研とのつながりが難しい。 ・イノベーションパークとのつながりについて，京都高度技術研究所を通じてコーディネーターを派遣しており，活用してもらいたい。 ・京大桂ベンチャープラザは大原野で農場を借りた新たな展開がみられ強化が必要。 ・桂イノベーションパーク，京大桂ベンチャープラザ，日文研について，地域連携を検討しており，今後意見交換したい。 ・起業を支援するしくみをつくるべき（起業のアドバイスや出前講座等）。 ・販売のための BOX 貸しや机貸しができないか。 ・ものづくりアーティストの工房＆お店や，体験型出張工場（工場見学ができる工場）等ができないか。 ・住宅地が多いので，介護や子育てなど地域に住んでいる人に着目したビジネスが考えられないか。 ・産学官の連携による先端産業の育成が進んでいると感じている区民は少ない（アンケートより）
	(11)芸大跡地活用の検討【重点取組】（芸大跡地）	①西京区の活性化と賑わいを創出する芸大跡地活用の検討	◎区民参加による芸大跡地活用の検討 ◎芸大跡地を活かした働く場の創出等新たな産業振興につながる跡地活用の検討	・芸大跡地をどう生かすかが重要。 ・芸大跡地への企業誘致ができないか。 ・大きな道の駅の整備（丹後の魚，大原野の野菜，市内の伝統工芸品を販売）による地域活性と就業場所の創出してはどうか。
	(12)住み続けられる住環境の整備（住環境）	①快適な住環境の整備	☐ 建築協定，地区計画等の取組支援 ☐ 総合的な空き家対策 ☐ 市営住宅の計画的な改修	・空き家問題は今後深刻化すると考えられる。 ・空き家の民泊への活用について，集客できるチャンスととらえるか迷惑と考えるか地域で考えるべき。 ・駅を中心に一戸建て空き家が増えてきていると感じる。 ・洛西ニュータウンも人口減少・高齢化・空家が問題となっており，活性化が必要。
		②安心して住み続けることができる住環境の創出	◎高齢者が住みやすい住環境の創出 ◎子育てしやすい住環境の創出 ◎洛西ニュータウン等での住宅流通や住み替えの仕組みづくり ◎多世代交流の場づくり ◎移住を促進する規制緩和の検討	・区民の良好な住環境についての評価は高く，6割が良好な住環境が維持・形成され，住み続けたいと評価（アンケートより）。 ・ニュータウンがオールドタウンになっている。若者が居住希望できる施策を。（アンケ自由）